



令和元年度

青少年の体験活動推進企業表彰

受賞企業一覧

優秀企業(プレゼンテーション企業)

- **有限会社エコ・ライス新潟**
温故知新!昔ながらの手作業から人工衛星を活用の農業まで都会で体験!
- **大塚製薬株式会社**
最新のAIテクノロジーで楽しく栄養を学べる食育アプリ
【おいしいおえかき SketchCook】(スケッチクック)
- **花王株式会社**
“清潔習慣”と“感謝の気持ち”を育む花王の「手洗い講座」「おそうじ講座」
- **株式会社新興出版社啓林館**
わくわく学習教室
- **株式会社ダスキン**
学校教育支援活動 ～みんなでつくろう キレイをいっしょに～
- **株式会社ナビタイムジャパン**
地域の魅力を発信する
「インバウンド向け観光ガイドマップ制作プログラム」
- **株式会社ファーストリテイリング**
“届けよう、服のチカラ”プロジェクト
- **株式会社ファンケル**
「特別支援学校」の生徒さんが自立するための「身だしなみセミナー」
- **フューチャー株式会社**
フューチャー イノベーション フォーラム (FIF)
【Kids Innovation Lab】
- **三井物産株式会社**
三井物産「サス学」アカデミー

審査委員会奨励賞

- **アサヒ飲料株式会社**
小学生向け出前授業
“「カルピス」こども乳酸菌研究所”
～みんながつくる、未来の笑顔～
- **株式会社伊勢半本店**
親子ワークショップ「いろのふしぎ」
ーさわって・えがいて・みんなでみようー
- **「震災の経験を次世代に」実行委員会**
(産経新聞社、積水ハウス、大阪ガス)
2018 防災キッズ育成サポートプロジェクト
子どもたちの防災&減災体験学習プログラム
～学ぶ、感じる、語り継ぐ～
- **サントリーホールディングス株式会社**
サントリー水育「森と水の学校」
～未来に水を引き継ぐために～
- **清水建設株式会社**
シミズ・オープン・アカデミー
- **日鉄エンジニアリング株式会社**
情熱・先端 Mission-E
(高校生向けのエンジニアリング教育プログラム)
- **日本無線株式会社**
電波ってなんだ? AMラジオ工作教室
- **森ビル株式会社**
ヒルズ街育プロジェクト

優秀企業(プレゼンテーション企業)

科学
技術

温故知新!

昔ながらの手作業から人工衛星を活用の農業まで都会で体験!



有限会社エコ・ライス新潟 <https://eco-rice.jp/rice/rice-planting-in-school>

〈事業概要〉時代の変化に合わせて、昔ながらの伝統的な手作業の農業と最先端のICT、IOT 農業の両面を伝えることで子供たち自らの意思で農業・環境・食への興味と将来の人材を育てます。

〈対象者〉小学生、高専学生

〈実施日程〉平成30年4月～平成31年3月

〈参加者〉700名



古来より日本人が大切にしてきた稲作は瀕死の状態です。米農家の高齢化率は74%、平均年齢も69.9歳です。家族的経営中心の米作りは限界で新たな人材が必要です。その人材の宝の山は都会の子供たちと考えます。

数年前までは小さな学校田で子供たちに「農業の危機」「食の大切さ」を一生懸命に伝えようとしていました。しかし、想いとは裏腹に子供たちに農業のマイナスなイメージを与えていました。

今では授業で昔ながらの手作業とIOT、AI農業の両極端な農業体験を取り入れて、子供たちの興味を引き出せるようになりました。古めかしい米づくりから最先端の農業技術革新を体験することで農業の暗いイメージを一新し「私も農業をしたい!」と前向きに捉えてもらえるようになりました。子供たちにとって農業が将来の職業選択の一つになることを目指しています。

生活
文化

最新のAIテクノロジーで楽しく栄養を学べる食育アプリ
【おいしいおえかき SketchCook】(スケッチクック)



大塚製薬株式会社 <https://sketchcook.jp/>

〈事業概要〉共働き家庭の増加や核家族化によって、家族がそろって食卓を囲むことや、親子で調理する機会が減り、孤食や欠食、偏食、子供たちが正しい食生活や栄養バランスの知識を身につけづらい環境にある昨今。親子でコミュニケーションをとりながら、遊び感覚で楽しく栄養について学べる機会を提供し、健康課題の解決に貢献します。

〈対象者〉主に小学生または親子・多数

〈実施日程〉平成30年4月～平成31年3月

〈参加者〉主に小学生または親子・多数



子供が描いた料理の絵から、栄養バランスの大切さを学ぶことができる食育アプリ【おいしいおえかき SketchCook】。Googleが提供する機械学習の技術を採用し、「楽天レシピ」の協力を得て実現。親子でコミュニケーションをとりながら、遊び感覚で楽しく学べる食育アプリケーションです。

①食べたいごはんの絵をかく②アプリにとりこむ③絵が料理に変身!
④一緒に食べるとからだにいいメニューを選ぶ⑤作り方を手に入れて親子でつくろう!というステップで構成。栄養バランスについて学ぶページもあり、一連のステップの中で栄養の大切さを学ぶことができます。家族が揃って食卓を囲むことや、親子で調理する機会の減少が、孤食や欠食、偏食などの一因になっており、子供たちが正しい食生活や栄養バランスの知識を身につけづらいという課題解決もサポートします。

生活文化

“清潔習慣”と“感謝の気持ち”を育む 花王の「手洗い講座」「おそうじ講座」



花王株式会社 <https://www.kao.com/jp/corporate/sustainability/society/education>
<https://www.kao.com/jp/corporate/sustainability/databook/>

〈事業概要〉社員が学校に訪問。小学1-2年生対象。「手洗い講座」では「あわあわ手洗い歌」を歌いながら楽しく手の洗い方を学び、「おそうじ講座」では、テーブルの拭き方等の体験を通じ、おうちの人への感謝の気持ちを育みます。

〈対象者〉全国の小学校
 〈実施日程〉平成30年4月～平成31年3月
 〈参加者〉手洗い講座(88校/5,182名)
 おそうじ講座(30校/2,199名)



花王グループは、子供達が将来にわたって快適な暮らしを自分らしく送り、サステナブルな社会をともに実現できるように、「自分の事を自分でできるようになる」「広く社会の事に関心を持ち、自分達にできることにチャレンジする」この2つの視点でプログラムを用意し、様々な次世代育成活動に取り組んでおります。低学年対象の「手洗い講座」では、音楽と共に楽しく授業を行い衛生習慣を身に着ける。「おそうじ講座」では、自分でできる「掃除」のし方を学びながら、「お家のおしごと」をしている家族への「感謝の気持ち」や「思いやりの心」を育む。という目的で平成21(2009)年より出張授業を行っております。その数は2講座計で校数1,204校、児童数85,104人(共に延べ数)となりました。また、学校で自主的にやりたいというご要望には「教材」を無償で提供しています。

生活文化

わくわく学習教室



株式会社新興出版社啓林館 ホームページ作成中

〈事業概要〉わくわく学習教室は教科書発行社である弊社が事業を営む天王寺区の近辺に住む小学生を対象に、2013年に開校した無料の学習教室です。主に算数や理科の楽しさ・有用性を伝える事を目的とし、大学の先生や地域企業と連携して進めています。

〈対象者〉小学生
 〈実施日程〉平成30年4月～平成31年3月
 〈参加者〉わくわく学習教室 502名
 わくわく夏まつり150名(中学生含)



わくわく学習教室は、教科書・教材を発行する弊社が、本社を置く大阪市天王寺区に所縁のある山中伸弥先生のノーベル賞受賞をきっかけに地域貢献活動として開始した無料の学習教室です。天王寺区近辺に住む小学1～6年生を対象に、平成25(2013)年7月からスタートし、今年2月末で160回の開催を数えます。これまでこの教室で学んだ小学生はのべ2,500人以上、現在の会員登録数は270名になります。教室は原則毎月2回、平日17:00～18:30。保護者も見学可。授業は「算数のおもしろさ」・「理科の有用性」・「英語での発信」を子供たちに体験してもらうことを目的に近隣大学の先生や地元企業と連携しながら内容を企画しています。日ごろの学習により興味を持って臨み、ノーベル賞を目指す子供が天王寺の地からたくさん出ることを願って。

優秀企業(プレゼンテーション企業)

生活文化

学校教育支援活動

～みんなでつくろう キレイをいっしょに～

DUSKIN
喜びのタネをまこう

株式会社ダスキン <https://www.duskin.co.jp/torikumi/gakko/>

〈事業概要〉「子供たちに掃除の大切さを伝えたい」「掃除を通して子供たちの力を伸ばしたい」、そんな想いを込めて、「掃除用具の使い方」、「掃除手順」、「地域と共に行う掃除」の3ステップで出前授業を実施しています。

〈対象者〉小学校全学年
 〈実施日程〉平成30年4月～平成31年3月
 〈参加者〉10～60名(1回)



ダスキンでは「喜びのタネをまこう」の経営理念を実践すべく、「子供たちに掃除の大切さを伝えたい」「掃除を通して子供たちの力を伸ばしたい」という想いから、平成12(2000)年より学校教育支援活動を行っています。学校の掃除時間は年間約3,000分。この時間を、子供たちの力を伸ばす、時間として活用できないか、現職の先生方と研究を行ったり、掃除の指導アイデアを収集するなど、学校現場のニーズに応じて活動を充実させ、①出前授業「キレイのタネまき教室」②教員セミナー「子どもたちの力を伸ばす学校掃除セミナー」を実施しています。掃除をする意義を考え、用具の使い方や手順を学び、そしてみんなで協力することの大切さを掃除を通して学びます。また、特別支援学校の教員と連携し、障がいのある子供たちも視聴できる映像教材をご用意しています。

生活文化

地域の魅力を発信する

「インバウンド向け観光ガイドマップ制作プログラム」

NAVITIME

株式会社ナビタイムジャパン http://corporate.navitime.co.jp/topics/pr/201903/14_4717.html

〈事業概要〉小学生を対象に外国人観光客向けの観光ガイドマップ制作を総合授業として提供。課題抽出～情報発信～振り返りまで、地域観光づくりを一貫して体験できるプログラム。地元の店主や写真家などの専門家が生徒の学びを支援します。

〈対象者〉渋谷区立千駄谷小学校6年生
 〈実施日程〉平成30年10月～平成31年3月まで
 11回開催
 〈参加者〉32名



訪日外国人観光客向けの観光ガイドマップ制作を、小学校の総合授業として提供。

授業では、課題抽出～マップ制作～外国人への配布～データ分析～実施の振り返りまで、地域観光づくりを一貫して体験することができます。ナビタイムジャパンの社員や地域のクリエイターが講師となって授業を行い、ワークショップやフィールドワーク形式で体験しながら学んでいきます。街を訪れる観光客や商店街で働く人を観察し、直接話しを聞ける場を設けるほか、取材、写真撮影、記事編集、イラスト制作といった専門知識も学ぶこともできます。制作過程において自ら考え行動する姿勢を学びながら、地域の将来を担う生徒たちが地域観光に取り組むことで、地域の魅力を再発見するとともに、自分たちの住む街への関心を高め、愛着を持ってもらうきっかけになれば、と考えています。

生活文化

“届けよう、服のチカラ”プロジェクト



株式会社ファーストリテイリング <https://www.uniqlo.com/jp/sustainability/school/>

〈事業概要〉「社員による出張授業」と「子供服の回収活動」の2つで構成した体験学習活動。子供たちは出張授業をきっかけに身近な服を通して国際課題や環境問題に目を向け、子供たち自身のアイデアのもと、地域社会を巻き込みながら服の回収等の活動をしていきます。

〈対象者〉全国の小・中・高等学校の児童・生徒
 〈実施日程〉平成30年6～7月 出張授業、
 平成30年11月まで子ども服の回収活動
 平成31年2月：活動報告会
 〈参加者〉計388校 約4万人



「服」の生産から販売までを担う企業の責務として、服の価値を最後まで最大限活かしたいという想いから、着なくなった商品の回収活動を行い、難民キャンプなどへ届ける活動を実施しています。

その一環として、地域の学校と協働して子供服を回収する本活動を開始。まずは近隣の店舗従業員が講師を務める出張授業で、服がもつチカラと難民問題について提起。

クイズやディスカッションを通じて、「いま自分にできることは何か?」と児童生徒が「世界の社会課題と自分とのつながり」を熟考できるよう工夫しています。

回収活動では、児童生徒が自由にアイデアを出し合い、計画・実行することで、考え抜く力・判断力・行動力など、多彩な力を養うことができます。活動の最後には、難民に服を届けた様子を写真付きのレポートにまとめ、児童生徒の振り返りとして活用していただいています。

生活文化

「特別支援学校」の生徒さんが自立するための「身だしなみセミナー」



株式会社ファンケル <https://www.fancl.jp/csr/community/activity.html>

〈事業概要〉(株)ファンケルは、全国の「特別支援学校」で生徒たちが、自信を持ち、前向きな社会人として巣立つために「身だしなみセミナー(男子は洗顔・整髪・ネクタイの締め方等。女子はフルメイク方法)」を30年以上すべて無料で行っています。

〈対象者〉「特別支援学校」に通う高校3年生
 〈実施日程〉平成30年4月～平成31年3月
 〈参加者〉1,973名



全国各地の特別支援学校に通っているハンディキャップを持った子供たちが、社会に出る前に自信を持ち、前向きに自立していくための身だしなみセミナーを開催。セミナーは、昭和63(1988)年よりスタート。(※平成18(2006)年度～平成30(2018)年度累計実施回数：488回)受け身ではなく、講師のレクチャーを聞きながら自分自身でその場で実践していくことで、自宅に戻ってからも自分で「基本の身だしなみ」を再現できるように習得してもらっています。昨年12月からは、ファンケルの特例子会社(株)ファンケルスマイル所属の、視覚障がいのある北構健寿さんも、身だしなみ講師として活躍しています。講師を務める北構さんを見て、「目が見えなくても講師を務めている先生を見習って、自分も色々なことに挑戦しようと思った!」など受講者に希望を与える存在になっています。

優秀企業(プレゼンテーション企業)

科学
技術

フューチャー イノベーション フォーラム (FIF) [Kids Innovation Lab]

FUTURE

フューチャー株式会社 <https://www.fif.jp>

〈事業概要〉 FIFの「Kids Innovation Lab」では社会課題解決型のキャリア教育やコンピューティング教育を行っています。今回の受賞事業はAR(拡張現実)の原理を学び、ARを活用して大規模スポーツイベントを盛り上げるためのアイデアをチームでまとめ、実際にプログラミングで創り上げる「スポーツハッカソン」です。

〈対象者〉 中学3年生～高校3年生
 〈実施日程〉 平成30年8月7日
 〈参加者〉 23名



FIFはフューチャー(株)のCSR部門でありながら他社と連携して社会貢献活動を推進する団体です。子供たちを対象とした「Kids Innovation Lab」ではキャリア教育やコンピューティング教育の場を提供し、2006年の設立以来のべ約2,650名が参加しています。「スポーツハッカソン」は中高生がチームを組み、令和2(2020)年を見据えてAR(拡張現実)を活用した大規模スポーツイベントを盛り上げるためのアイデアを出し、プログラミングで実装するという企画です。アイデアとともに構築したARをオリンピック、パラリンピックを含むゲスト審査員の前で披露し、最優秀賞を決めました。ITが社会をデザインするツールになることや協業することの楽しさ、スポーツを楽しむ心はみんな同じであることを体感してもらいました。

生活
文化

三井物産「サス学」アカデミー



三井物産株式会社 <https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/contribution/education/sasugaku/index.html>

〈事業概要〉 2050年の未来都市が抱える様々な課題を子供たちがジブンゴトとして捉え、多様な解決方法を企画提案するワークショップ。「学び」「考え」「発想をみんなに伝える」ことを通じ、子供たちの「未来につながる社会を創りだす力」を磨きます。

〈対象者〉 小学4年～6年生
 〈実施日程〉 平成30年7月
 〈参加者〉 29名



「サス学」とは社会が抱える様々な課題を子供たちがジブンゴトとして捉え、多様な解決方法を企画・提案する「サステナブル学習」のこと。子供たちの「未来につながる社会を創りだす力」を磨きます。三井物産は、この力を主体的に身につけるための学びの場として、全5日間プログラム「サス学」アカデミーを平成26年から令和元年まで6年連続開講。実際に手掛ける事業を教材に、参加児童が積極的に課題に関わり、解決しようとするプロセスの中で「学ぶ力」「思考力」「応用力」「表現力」の向上を目指します。自己肯定感を重視しつつ他者の意見も尊重するグループワークも交えたプログラムで、平成30年は「未来の健康生活」をテーマに、社員講師による講義や三井物産の森でのフィールドワークを通じて学び、最終日に参加児童が自らの考えを発表しました。



審査委員会奨励賞

生活文化

小学生向け出前授業「[カルピス]こども乳酸菌研究所」 ～みんながつくる、未来の笑顔～

Asahi
アサヒ飲料

アサヒ飲料株式会社 <https://www.asahiinryo.co.jp/peace/kids-labo/>

〈事業概要〉「乳酸菌と発酵」をテーマに食の大切さや、新しい価値を生み出すには「夢」と「知恵」の両方が大切である事を伝え、未来の笑顔に繋がるアイデアを社員とのディスカッションを通じて主体的に考えることを目的とした、食育/理科/キャリア教育が複合的に学べる小学生向け出前授業。

〈対象者〉小学4年生～6年生
〈実施日程〉平成30年6月～平成31年1月
〈参加者〉2,476名



「食」への関心や、世の中に新しい価値を生み出すことの大切さを伝える事を目的とした小学生を対象とした出前授業。社員が講師となり「カルピス」の製造工程の動画視聴、乳酸菌の顕微鏡観察、pH測定、発酵食品の食べ比べなどの体験を通じて、身近な食品に関わる微生物の力を学びます。更に後半は、授業で得た乳酸菌や発酵の知識をもとに、誰かの笑顔に繋がる未来アイデアを一人ひとり考え、発表を行います。食育・理科・総合学習などの複合的プログラムです。授業を受ける児童は、研究員という設定からはじまり、2つのミッションから『知恵』と『アイデア』を手に入れて“こども乳酸菌はかせ”を目指します。

【ミッション1】乳酸菌 や 発酵 のひみつにせまろう！
【ミッション2】未来の研究のアイデアを考えよう！

生活文化

親子ワークショップ「いろのふしぎ」 ーさわって・えがいて・みんなでみようー

伊勢半本店
SINCE 1825

株式会社伊勢半本店 https://www.isehanhonten.co.jp/cat-blog/blog_workshop/20190901blog/
https://www.isehanhonten.co.jp/cat-blog/blog_workshop/20180905blog/

〈事業概要〉日本伝統の色「紅」の製造を江戸時代から継承する紅屋が、子供たちが五感を使って「いろのふしぎ」を味わうことができるワークショップを美術家とともに実施。

〈対象者〉5歳から小学校3年生
〈実施日程〉平成30年8月～9月
〈参加者〉のべ30名



日本伝統の色「紅」の製造を江戸時代から継承する企業として、子供たちが五感を使って「いろのふしぎ」を体験する「親子ワークショップ「いろのふしぎ」ーさわって・えがいて・みんなでみようー」を実施。子供たちが全身を使って絵具で大きな作品を制作する「さわって・えがいてワークショップ」と、その作品を元に美術家が再構築した作品を皆で観る鑑賞プログラム「みんなで見ようワークショップ」の二部構成としました。

非日常の空間で、初めて会う参加者とともに創造的な活動をすることで、個人では味わえない、協同作業でこそ得られる創作の楽しみや驚きを感じてもらうことができました。また、自分たちが制作した平面作品を、美術家が立体作品化して鑑賞の対象とすることで、親しみを感じる作品を前にし、鑑賞の力を育むことに貢献できました。

生活文化

2018 防災キッズ育成サポートプロジェクト 子どもたちの防災&減災体験学習プログラム ～学ぶ、感じる、語り継ぐ～

産経新聞社

SEKISUI HOUSE

大阪ガス

「震災の経験を次世代に」実行委員会(産経新聞社、積水ハウス、大阪ガス) <https://www.esankei.com/event/seminar/bousai/>

〈事業概要〉次世代を担う子供たちの生きる力の向上を目指す、体験学習型の防災教育プロジェクト。小学生と中学生を対象にした公募型事業であり、防災・減災ワークショップ、防災・減災体験学習ツアー、上記の成果を報告し、防災教育の在り方を考えるフォーラム&防災クッキングの3つの事業を展開。

〈対象者〉小学生から中学生
 〈実施日程〉平成30年10月～平成31年1月
 〈参加者〉229名



近年多発する自然災害を背景に防災・減災という観点から子供たちの「生きる力」を育むことを目的に産経新聞社、積水ハウス、大阪ガスの3社で「震災の経験を次世代に」実行委員会を構成。平成29(2017)年から体験学習型の「防災キッズ育成サポートプロジェクト」を展開しています。

より多角的、立体的に取り組みを実施するために、各企業の特性(情報発信、住まい、インフラ)を活かした連携体制を構築。「2018防災キッズ育成サポートプロジェクト」では、防災・減災ワークショップ型の体験学習(10月)、災害の記録、防災ノウハウをアーカイブした施設を巡る防災&減災体験学習ツアー(11月)、上記2つの成果を報告し、防災教育の在り方を考えるフォーラム&防災クッキング(12月)の3つの事業を展開し、子供たちの防災・減災への意識の向上につながっています。

自然環境

サントリー水育「森と水の学校」 ～未来に水を引き継ぐために～

SUNTORY

サントリーホールディングス株式会社 <http://suntory.jp/MIZU-IKU/>

〈事業概要〉水育「森と水の学校」は、小学校3～6年生とその保護者を対象に、「サントリー天然水」のふるさと(白州・奥大山・阿蘇)で行う自然体験プログラムです。

〈対象者〉小学校3～6年生
 〈実施日程〉平成30年7月～8月
 〈参加者〉1,763名



水育「森と水の学校」は、平成16年に熊本・阿蘇で開校され、山梨・白州、鳥取・奥大山と広がり、これまでに、26,000名を超える親子の方々に参加しています。(平成30年末現在)大自然の中、親子で森の探検や水に触れる体験を通して、水の大切さや、水を育む森や自然の大切さを体感します。子供たちが、自然のすばらしさを感じ、水や、水を育む森の大切さに気づき、未来に水を引き継ぐために何が出来るのかを考える、次世代に向けたプログラムです。

審査委員会奨励賞



シミズ・オープン・アカデミー



清水建設株式会社 <https://www.shimz.co.jp/company/csr/soa/>

〈事業概要〉 青少年にものづくりの楽しさや建設の面白さ奥深さを伝えるため、清水建設技術研究所の実際の研究施設、設備を利用して、ものに触れ、体験できる常設の公開講座プログラムを実施しました。

〈対象者〉 小学生から大学生
 〈実施日程〉 平成30年4月～平成31年1月
 〈参加者〉 3,288名



未来を担う青少年に建設やものづくりへの興味・関心を深めてもらうことを目的に、技術研究所の施設を活用しテクニカルツアーを実施。専門家である研究員が講師となって、建設の概要や建物に必要な様々な分野の技術について講義した後、実際の研究施設を見学してもらっています。建設技術の発展の歴史や高層ビルの工事記録映像を見たり、地震の揺れから建物を守る免震装置や生態系に配慮した緑化の実証を行っているビオトープの観察、実験装置を利用した強風の体験など、普段の生活の中では経験することのできないプログラムの提供を通じて、多くの青少年に建設のおもしろさや奥深さを学んでもらっています。本プログラムは常設の公開講座として、受講学校の希望日時に合わせて随時開催しており、本社や全国の支店と連携して出張講座も実施しています。



情熱・先端 Mission-E (高校生向けのエンジニアリング教育プログラム)



日鉄エンジニアリング株式会社 <https://www.eng.nipponsteel.com/index.html>

〈事業概要〉 洋上風力発電や大空間建築、工場の廃熱利用など、大人もまだ解決できていない社会問題に対し、高校生チームが8ヶ月かけて実機を設計・製作、その性能とプレゼンテーションをコンテストで競うエンジニアリング体験プログラム。

〈対象者〉 関東地区と北九州地区の高校生
 〈実施日程〉 平成30年8月～平成31年3月
 〈参加者〉 計9校 92名



高校生たちに、大人もまだ解決できていない社会課題(①洋上風力発電設備の設計・製作、②大空間構造物の設計・開発、③工場の廃熱利用)に取り組み、学校で学んだ知識や理論が実社会でどのように活用されるのか、チームで取り組むことの難しさや素晴らしさも含めて、「エンジニアリング」を体感してもらうことと、将来の進路やキャリア選択に役立ててもらうことを狙いとしています。テーマは全て教育のために作られた課題ではなく、いずれも実社会で大人が真剣に取り組んでいるものであり、科学に関心のある生徒たちは、何度も失敗しながらも、目を輝かせて取り組んでいます。学校の先生方も、指導する社員も、助言はするが手は出さない、指示はしない、という当プログラムのルールを共有し、生徒たちの自発的な挑戦を促しています。



電波ってなんだ？ AM ラジオ工作教室

JRC 日本無線

日本無線株式会社 https://www.jrc.co.jp/jp/about/activities/am_radio/index.html

〈事業概要〉 様々な実験を通して電波の話を30分勉強し、その15mのコイル巻きと部品のはんだ付けを通してラジオを製作する教室で、参加費はすべて無料で実施しております。

〈対象者〉 小中学生

〈実施日程〉 平成30年6月～平成31年3月

〈参加者〉 計786名(29回実施)



子供たちの理科離れが懸念される中、ラジオ工作を通して「ものづくり」の楽しさや喜びを体験してもらうことを目的とし、全国で開催しています。「AMラジオ工作教室」では、まずラジオが聞こえる電波のしくみを実験やクイズで学びます。その後約15mのエナメル線を巻いてアンテナを作り、部品をはんだ付けしてラジオを組立てます。自分で組立てたラジオから音が聞こえた時の感動は、工作の苦労を楽しい思い出へと変えさせることが出来ます。次世代を担う子供たちにラジオ工作を通して、物理現象の1つである電波の不思議とものづくりの楽しさを五感で感じ取ってもらい、自分の可能性を発見し挑戦する気持ちを育てていきたいです。



ヒルズ街育プロジェクト



森ビル株式会社 <https://www.mori.co.jp/machiiku/>

〈事業概要〉 森ビルが街づくりをする上で大切に考えている「安全」「環境」「文化」をテーマに、未来を担う子供たちを対象とした体験型学習プログラムを実施し、彼らの無限大の可能性を拓きながら、彼らと共に未来の都市を創るプロジェクトです。

〈対象者〉 小学校3年生～6年生および保護者

〈実施日程〉 平成30年4月～平成31年3月

〈参加者〉 年間52回 計1,634名



本プログラムは、創業から約60年間にわたり地域の方と共に街づくりを推進してきた当社が、「街」の魅力や「街づくり」のノウハウを、未来を担う子供たちに伝えると共に、楽しく学びながら子供たち自ら次世代の都市のあり方を考える機会として実施しています。六本木ヒルズ、アークヒルズ、虎ノ門ヒルズ等の当社が開発・運営を行う本物の「街」を舞台に、当社が大切にしている「安全・安心」「環境・緑」「文化・芸術」をテーマとした親子向けの多様な体験型プログラムを実施。未来を担う子供たちに「街」と「街づくり」に興味・関心を持ってもらうことで、彼らの無限大の可能性を拓きながら、彼らと共に未来の都市について考えることを目的としています。なお、幅広い層に対して教育機会を提供すべく、参加費は無料としています。

広がる企業の体験活動

自然環境

「三ツ矢サイダー」水の未来と環境教室 ～こどもSDGsスクール～

アサヒ飲料株式会社



<https://www.asahiinryo.co.jp/peace/study/>

「三ツ矢サイダー」を題材に「軟水・硬水」の違いや「ろ過」の仕組みについて、実験を通して学習します。また、「SDGs(持続的可能な開発目標)」について身近な事例を元に学び、「水」や「地球環境」保全について「自分たちができること」を考えます。

生活文化

「森と水をつなぐ東近江の暮らし再発見プロジェクト」 ～いきもの観察会

旭化成住工株式会社

HEBEL HAUS

<https://www.asahi-kasei.co.jp/jyukou/csr/biodiversity.htm/>

「森と水をつなぐ東近江の暮らし再発見プロジェクト」は、東近江市の企業として地域のために、東近江市の「文化」をキーワードに「溜池文化」、「食文化」、「地場産業文化」を「再生し」、「食し」、「繋ぐ」ことをコンセプトとして活動しています。当事業は、この中の溜池文化の再生の一環として実施しています。

生活文化

こども新聞サミット

こども新聞サミット実行委員会
(こども新聞27社)



全国各地で発行されているこども新聞から代表のこども記者とおとな記者を派遣してもらい「こども新聞サミット」を開催。各地のこども新聞ごとに、事前にテーマにそって意見をまとめてもらい「こども新聞サミット」で意見交換。最終日に、子供たちによる提言を発表。各こども新聞にて「こども新聞サミット」の記事を掲載。子供たちの意見をまとめた「つながるこども新聞」を発行し、全国5000校の小学校に無料配布。

自然環境

コープのがっこうシリーズ

いばらきコープ生活協同組合



<https://ibaraki.coopnet.or.jp/info/>

茨城県内の行政や諸団体と連携し、組合員とその家族を対象に自然や食・環境をテーマにした連続体験教室を毎年継続して開催。

生活文化

金融経済教育活動

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社



<http://www.promise-plaza.com/>

地域コミュニティ拠点「お客様サービスプラザ」が主体となり「お金に関する体験プログラム」を展開。お金の役割や大切さを楽しみながら学ぶカードゲームや、未来を担う若者が社会に出る前にお金に関する正しい知識を習得し適切な判断力を身に付けるための出前講座を開催。

自然環境

夏休み親子で古座川・自然体験

大阪いずみ市民生活協同組合



<http://www.izumi.coop/>

大阪から和歌山県古座川町に、親子で参加する一泊二日のツアー。古座川の豊かな自然に触れ、生産者との交流を深めます。

生活文化

すこやかラダ大作戦

小野薬品工業株式会社



<https://ono-csr.disclosure.site/ja/themes/115#933>

東北3県(福島県、宮城県、岩手県)は気候的な影響もあり、もともと小児肥満の割合の多い地域であり、東日本大震災後は小児肥満につながる運動不足が指摘されていました。子供たちの将来の健康を考え、体を動かす楽しさを伝え、運動不足を解消する支援活動。

自然環境

オルビス環境活動 「キッズプログラム」

オルビス株式会社



http://corp.orbis.co.jp/?adid=foot_bnr

オルビスが手掛けている「甲州市・オルビスの森」の里山再生プロジェクトと連動したプログラム。自然に触れる場を創出することで、環境に対する意識を高めることが狙い。

自然環境

きゅうでんプレイフォレスト

九州電力株式会社



http://www.kyuden.co.jp/company_local-social_playforest_index.html

当社の社有林や、九州各地の森林公園等において、子供たちの環境意識啓発を目的に、地元のNPOや民間企業と協働で実施する体験型の環境学習イベント。

自然環境

子どもたちの“自然を大切にできる心”を育てる 「くじゅう九電の森」での環境教育

九州電力株式会社



<http://www.kyuden-mirai.or.jp/>

子供たちの環境意識を啓発し、将来の環境保全につながることを目的に、九州電力(株)の社有林「くじゅう九電の森」において、「講話」と「体験」のプログラムから成る環境教育を展開。

その他 **マヨネーズ教室**

キューピー株式会社



<https://www.kewpie.com/education/class/>

「食を通じて社会に貢献する」という創業当初からの精神のもと、食の楽しさと大切さを伝えることを目的とし、平成14(2002)年から小学生を対象に実施している出前授業。

自然環境 **【出張授業】KDDIの小学校向け環境教育
～KDDI 草木と森のいきもの図鑑作成教室～**

KDDI株式会社



<https://news.kddi.com/kddi/corporate/csr-topic/2019/11/07/4123.html>

小学生を対象に、通信事業者ならではの活動としてタブレットを活用した、子供たちがこれまで体験したことのない環境教育「草木の森のいきもの図鑑作成教室」を実施し、新たな学びの場を提供しています。

生活文化 **南三陸木工教室**

清水建設株式会社



https://www.shimz.co.jp/company/csr/society/education/index.html#education_03

東日本大震災復興支援として、被災地である南三陸町の小学生を対象にした木工教室を、震災翌年の平成24(2012)年より開催。東京木工場の社員が講師を行い、子供たちに「木の温もり」と「ものづくりの楽しさ」を伝えています。

科学技術 **“時について考える”
セイコーわくわく時計教室**

セイコーホールディングス株式会社



<https://www.seiko.co.jp/csr/society/community/school/>

「正確な時間はどのように計ることができるのか」「時計がなかったら社会はどうなるのか」時計の原理や成り立ちの講義、実験、オリジナル時計づくりを通して、「時」や「時計」の面白さを伝えるプログラム。

生活文化 **ケーキ作り教室を通じて、
チョコレートの魅力を知り食の安全を考える**

株式会社たにぐち



<https://www.taniguchi-net.com/company/csr>

バレンタイン、ひな祭り、子どもの日、母の日、ハロウィン、七五三、クリスマスといったイベントごとにケーキ作り教室を開催。年齢性別関係なく参加することができますが、特に3歳～12歳までのお子さんと保護者の方をメインターゲットにチョコレート作りを通じて、ケーキに欠かすことのできないチョコレートの魅力を再発見してもらいながら食の安全について学んでもらいます。

職業仕事 **ジョブシャドウイングプログラム**

千代田化工建設株式会社



<https://www.chiyodacorp.com/jp/csr/csr/student-acceptance.html>

NPO法人JUKEが主催するプログラム。インターンの前段階として、学生・生徒が、さまざまな企業・組織の社員に一日同行し、どのような仕事をしているかを体感する活動。当社も受入れ企業として参加。

自然環境 **ニチバン巻心 ECO プロジェクト、
「出前事業」と「森のしずく保全活動」で環境学習**

ニチバン株式会社

びったり技術で明日をつくる



<https://www.nichiban.co.jp/project/makisin-eco/main7.html>

使い切った粘着テープの巻心を回収し、再資源化する活動に参加する小学校へ訪問し、ゴミ問題やリサイクルに関する「出前授業」を実施。また、小学生を「森のしずく保全活動」に招待し、環境体験学習を行ないました。

自然環境 **樹木名プレート(樹名板)の寄贈活動**

公益財団法人 ニッセイ緑の財団



<http://www.nissay-midori.jp/topics/details/331>

全国194カ所の“ニッセイの森”において採れた間伐材を有効活用して樹木名プレートに加工し、学校等へ無償で寄贈する活動。

職業仕事 **日本ハム「ウイナーの手作り体験教室」
～たんぱく質と体づくり編～**

日本ハム株式会社



https://www.nipponham.co.jp/csr/food_sports/education/

平成17(2005)年度より全国の小中学校を中心とした若い世代を対象に活動。座学と体験を組み合わせた授業を提供し、「正しく食べること」「食べることを楽しむこと」「食べものを大切にすること」を伝えています。

職業仕事 **JAL 工場見学
— SKY MUSEUM —**

日本航空株式会社



https://www.jal.co.jp/kengaku/?_ga

=2.265289231.1854642322.1580171890-164726375.1549957833
整備士、運航乗務員、客室乗務員などの経験者がガイドを務める、約100分の工場見学コース。航空教室での講義、展示エリアで各職種の仕事紹介、JALの歴史を見学したのち、格納庫で実際の航空機整備の様子を間近に見学していただく内容となっています。

広がる企業の体験活動

生活文化

日本新薬こども文学賞

日本新薬株式会社

 日本新薬株式会社

<http://kodomo-bungaku.jp/>

「物語部門」と「絵画部門」で作品を募集し、物語部門の最優秀作品に絵画部門の最優秀賞受賞者が絵をつけた絵本を、子供参加型のイベントなどを含んだ表彰式で披露しています。制作した3万部の絵本は、全国の医療機関や図書館等に配布するほか、読み聞かせなどの朗読会を実施しています。

生活文化

「為末大学食育学部」

日本製粉株式会社

いつも食卓に、ニッポン


<https://www.nippon.co.jp/hiroba/tamesue-college/index.html>

小学校高学年の児童を対象に、「心身ともに健康になる」きっかけとなるよう、「体育」「食育」「夢」の3時間編成で特別授業を展開しています。講師は元プロ陸上選手の為末大氏、管理栄養士のこばたてるみ氏で、全国各地の小学校で実施しています。

自然環境

ハウス「食と農と環境の体験教室」

ハウス食品グループ本社
株式会社

 ハウス食品グループ

<https://housefoods-group.com/activity/event/taiken/index.html>

親子で年3回、田植え、野菜の収穫、稲刈りなどの農作業、カレーの調理等を体験。食の大切さを学び、自然の中で様々な生き物と触れ合い、環境の大切さを知る体験型の教室。

自然環境

小学生を対象とした「田んぼの生きもの調査」

三井化学アグロ株式会社

 三井化学アグロ株式会社

<http://www.mitsui-agro.com/>

小学生を対象に、田んぼの多様な生きものを観察、体感してもらい、環境と共存しながらの米作りの重要性について学習し、理解を深める機会を提供しています。

科学技術

液体窒素を使った科学実験

株式会社丸協酸素商会



<http://www.marukyosanso.co.jp/>

高圧ガスは産業界において様々な場面で使用されており、私達が生活するにあたり必要不可欠です。そのようなガスを利用して幼稚園や小学校、自治体などでのサイエンスショーを通じ感動体験を多くの子供達に届けています。

自然環境

森永リトルエンゼル育成プログラム チャレンジ!無人島探検隊 in せとうち

森永製菓株式会社



www.morinaga.com/saikoo/2019/

小学生に、電気・ガス・水道のない自然の中での生活を体験する機会を提供。SDGsについて事前～事後に渡って学習し、無人島での生活で仲間との様々な挑戦を通し「生きる力」を身に着けられるようサポートします。

自然環境

大槌学園「ふるさと科」授業での植樹体験

横浜ゴム株式会社



<https://www.y-yokohama.com/release/?id=3023&lang=ja>

<https://www.y-yokohama.com/csr/mori/>
岩手県大槌町立大槌学園の特別の教育課程である「ふるさと科」の授業の一環として、震災がれきを利用した植樹マウンドでの植樹体験を行い、ふるさとの環境を守ることの大切さを体験してもらう活動を行っています。

自然環境

「何に見える?」本革アートワークショップ

ララミー レザー

Laramie

<https://laramie-leather.com/kids-learning-program>

小学生を対象に「さまざまな形の本革」を使い、子供の創造力を活かしたアート作品づくり。講座では、普段あまり目にする事のない本革という天然素材を教材に、製品になるまでの工程を解説し学習。革を使ったオリジナル作品で「モノ」を大切に作る心の育成を促します。

職業仕事

北海道わたみ自然学校

ワタミ株式会社



<https://www.watami.co.jp/>

北海道の自然とのふれあいを通じて、「自分の夢を見つけ、自分は何のために生まれ、どう生きるか」を考える機会と、一人一人の可能性を大切に、未来を生きる子供たちが持続可能な社会を築く力を育む」3泊4日の体験型学習、ESD。



全ての子どもたちが、
夢と志を持って可能性に挑戦する上で必要となる力を、
体験活動を通じて確実に育てていくために



体験活動の必要性

昨年、元号が「令和」に改められ、新しい時代が始まった。今、我が国は、「人生100年時代」や「超スマート社会(Society5.0)」と言われる変化の激しい時代を迎えている。こうした社会の大転換を乗り越え、一人一人が豊かに生きていくためには、生涯にわたって質の高い学びを重ねて、成長し、多様な他者と協働しつつ、感性や創造性を発揮して新たな価値を生み出す力を身に付けることが必要であり、教育が果たす役割は大きい。

平成30年6月に閣議決定された「第3期教育振興基本計画」においては、子供の健やかな成長のためには、豊かな心を育むことが不可欠であり、このため、豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、自己肯定感・自己有用感、他者への思いやり、対面でのコミュニケーションを通じて人間関係を築く力、困難を乗り越え、物事を成し遂げる力、公共の精神等の育成を図るとともに、日本の伝統や文化を継承・発展させるための教育を推進することが重要である。とされており、社会体験活動や自然体験活動等も含め、児童生徒の多様な体験活動の機会を充実することの必要性を求めている。

様々な主体が協働して実施する体験活動

平成31年1月に発表された中央教育審議会答申「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」(平成31年1月25日)においては、「社会に開かれた教育課程」の理念も踏まえ、学校が家庭や地域の人々とともに子供を育てていくという視点に立ち、地域と学校の連携・協働の下、幅広い地域住民等(多様な専門人材、高齢者、若者、PTA・青少年団体、企業・NPO等)とともに、地域全体で子供たちの成長を支え、地域を創生する活動(地域学校協働活動)を進めながら、学校内外を通じた子供の生活の充実や活性化を図ることが大切だと述べられている。

また、先述した「第3期教育振興基本計画」においては、幅広い地域住民や地域の多様な機関・団体等の参画を通じた地域学校協働活動の全国的な推進を図る際には、関係府省が連携し、放課後や土曜日等の学習・体験プログラムの充実や、企業等の外部人材等の活用を促進する必要性が挙げられている。

「青少年の体験活動推進企業表彰」が果たす役割

「青少年の体験活動推進企業表彰」は、中央教育審議会答申「今後の青少年の体験活動の推進について」(平成25年1月21日)を受けて始まったものであり、今年度で7回目を迎える。企業が、自社の強みを活かし、積極的に教育CSR活動に参画することは、次世代を担う子供たちが「社会を生き抜く力」を身に付けることにつながり、また、企業の社会的評価の高まりや、新たな社会価値の創造が期待できる。企業から応募される取組内容は年々充実し、企業の取組が着実に広がっている。

今年度より、応募のあった74企業の中から審査委員会によって選出された優秀企業10企業によるプレゼンテーションを行い、このプレゼンテーションによって、最優秀賞(文部科学大臣賞)を決定することとした。また、過年度の最優秀賞受賞企業と今年度受賞企業が一堂に会してポスターセッションを実施し、多様なステークホルダー(学校関係者、学生、青少年教育関係者、ビジネスパーソン、NPO、メディア関係者等)が意見交換する機会を設けた。事例集では、今年度応募74企業の紹介及び受賞企業(優秀企業・審査委員会奨励賞)の取組を掲載している。本企業表彰が、社会全体で体験活動の様々な機会を創出し、推進する仕組みの構築につながれば幸いである。

企業力で青少年に多様な体験活動の機会を 青少年の体験活動推進企業表彰



表彰の目的

社会貢献活動の一環として青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を表彰し、全国に広く紹介することにより、青少年の体験活動の推進を図る。

表彰の対象

企業が社会貢献活動の一環として主催し、参加する青少年を公募して実施したもの。令和元年度表彰は平成30年4月1日～平成31年3月31日に実施された体験活動を対象にした。

表彰の内容

全国より74企業(大企業66企業、中小企業8企業)の応募があり、優秀企業(プレゼンテーション企業)が10企業、審査委員会奨励賞が8企業選ばれた。

※文部科学大臣賞は、表彰式当日のプレゼンテーションにて最終審査により決定の予定。

年度	企業名・事業名
平成25年度	株式会社リコー [市村自然塾]
平成26年度	アサヒビール株式会社 [日本の環境を守る若武者育成塾]
平成27年度	大企業部門 パナソニック株式会社 [映像制作支援プログラムキッド・ウイットネス・ニュース(KWN)] 中小企業部門 株式会社金沢大地 [コープ農園大豆・味噌づくりコース]
平成28年度	大企業部門 ペンてる株式会社・キャノンマーケティングジャパン株式会社 [校舎の思い出プロジェクト]を2社共同で実施 中小企業部門 ワイズティーネットワーク株式会社 [宇都宮市立中央小学校の紅茶部をサポート]
平成29年度	大企業部門 伊藤忠食品株式会社 [商業高校フードグランプリで食に関わる人材の育成・食育] 中小企業部門 株式会社栄水化学 [心を磨く習慣教育「エコピカはかせのおそうじ塾」 ～子ども達が明るく育ち、地域がHAPPY!こなれる環境づくり～]
平成30年度	大企業部門 株式会社テレビ東京 [“すべての子どもたちに届ける”「テレビ東京の校外学習」] 中小企業部門 株式会社長坂養蜂場 [楽しく学んで、養蜂とミツバチの恵みへの理解を深める「夏休み子ども採蜜体験教室」]

文部科学省のホームページに、これまでの詳細な情報が掲載されています。ぜひご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/taiken.htm

青少年の体験活動推進

検索



文部科学省

令和2年2月

担当：文部科学省総合教育政策局地域学習推進課青少年教育室

〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関3-2-2 TEL:03-5253-4111(代表) <https://www.mext.go.jp>